

令和7年度第1回

柏市社会教育委員会議

令和7年10月27日 14:00-16:30

根幹となるテーマ

子どもたちが将来に向けた
選択肢や可能性を拓き、
「自分らしく生きる力」を育むための
家庭教育支援とは

目指すゴール

柏市の家庭教育支援事業

「みんなの子育て広場」活性化の

具体策の提言

1. 保護者の学び
2. 保護者子どもの学び
3. 保護者同士の交流

・保護者の不安や悩みの解消
・保護者同士の仲間づくり

【仮説】

子どもたちは生き残りを抱えているのではない。



家庭教育支援(みんなの子育て広場)は何かできるか?

生き方の選択肢は
実は幅広い

不確実な時代の中で
選択しなけれならぬ大変さ

どちらもありとを親子に示したい

全5回の会議を通り考えていく

「自分らしく
生きる
とは?

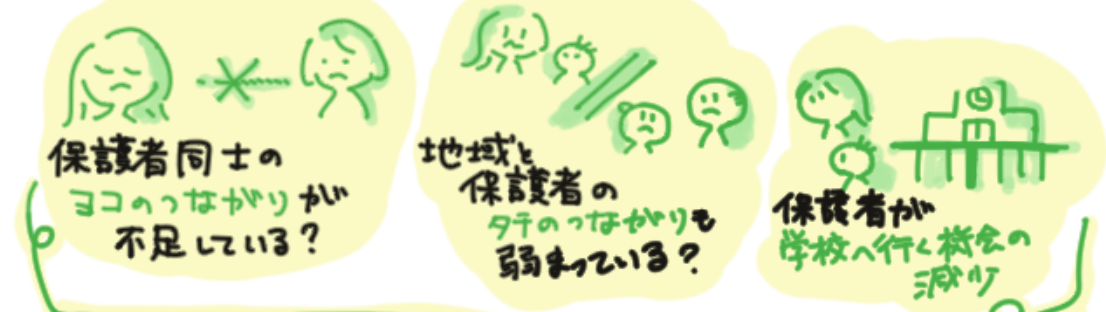
家庭教育では
何かできる?

それ以外に
市民や行政が
取りとめる
ことは?

みんなの
子育て広場で
できることは?

テーマに対する意見交換

保護者に対するアプローチが今、必要なのは?



- ・保護者同士コミュニケーションがとれる場
- ・保護者と子どもと一緒に体験する機会

...があるというのでは?

第1テーマ 「自分らしく生きる」とはどのような状態か?

【A班】

- ・「好き」を知っている
 - ・「価値観」を認識している
 - ・「気持ち」に正直にいられている
- 自分らしく
生きる状態

肯定されている環境・経験
「自分が求められている」感覚

「やってみよう!
(やってみよう!」

自分らしく
生きる
状態!!

「自分らしく生きる」を定めておく状態は必要要素

安心して
チャレンジできる

笑顔で
いられる

ありのままに
いられる

【B班】

- ① やりたいこと
- ② やれること
- ③ やるべきこと

この3つのバランスで
自分らしく
表出されるのでは?

自分らしくは
人それぞれ
(正解があるものではない)

自分自身の主導権って なんだろ?



居場所

10のやせこが
あること
大事

space

happy

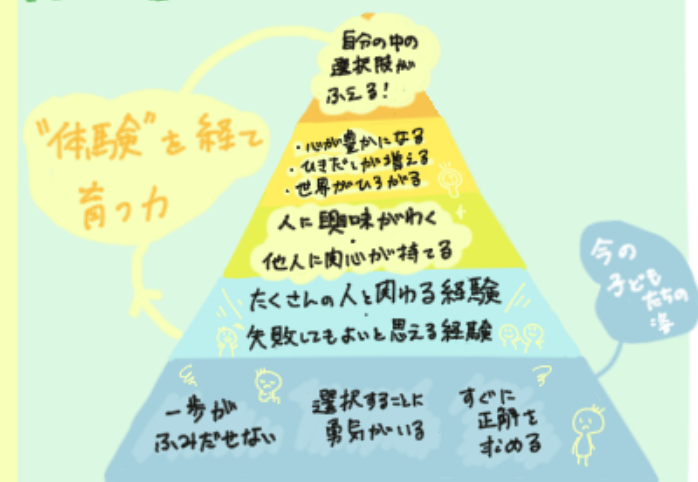
第2テーマ

子どもたちが自分らしく生きるためにどのような力が求められるか?

【A班】



【B班】

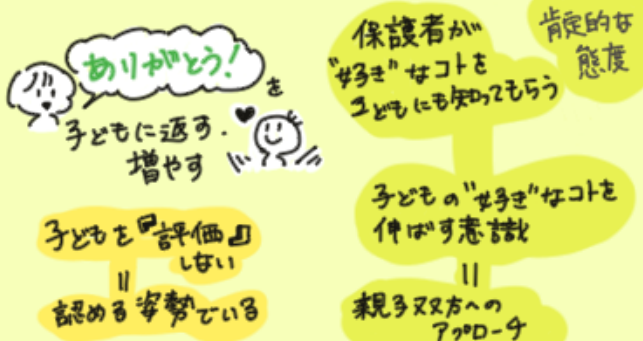


第3テーマ

子どもたちが自分らしく生きる力を身につけるために、
家庭ではどのようなアプローチができるか?

【A班】

会話を増やす・体験活動への参加



【B班】

親子のコミュニケーションを増やす



第2回

柏市社会教育委員会議

令和8年1月23日 14:00-16:00

子どもたちを取り巻く環境を踏まえて、

理想と現状のギャップについて考える

1. 10月13日は来賓、2. クリスマスにちなんで考えました

① 家庭でのアプローチを更迭するとしたら、
子どもを取り巻くどのような現状が
壁となるのか?

② ①で挙げた壁を
突破しようとするには、

「みんなの子育て広場」で取り組む
壁の優先順位 付与

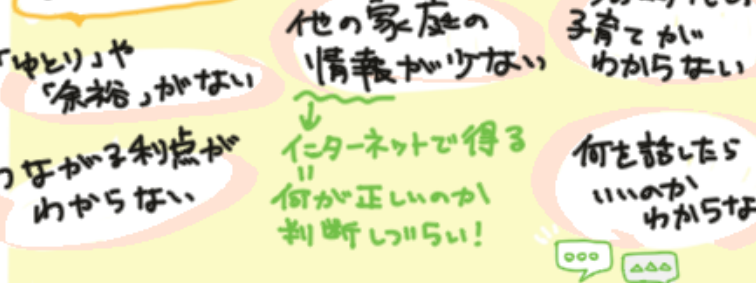
→ 次回会議で
深める

【A班】

褒め方がわからない

スマホとのつきあい方

その他には...



【B班】

多様な生き方を知る機会がない

親も個人としての自分らしさの対立

「親も自分」→「よい子育て」の両立の理想化、そのギャップの解消

その他には...

